

R. I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2011-2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー
2011-2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2011-11-25

第2803回 例会報告

- (1) 点鐘
- (2) ロータリーソング 「我等の生業」
- (3) ゲスト並びにビジターの紹介 なし
- (4) 誕生祝 11月26日 杉野 芳宏さん



みなさん、こんにちは！私の誕生日を祝って頂きありがとうございます。

1926年、大正15年生まれです。明日で85歳になります。毎日会社へ行っております。朝7時50分には会社に着いています。仕事は殆どお客様の接待と会議に出ること、各種会合に出ることです。自分では元気と思っておりますが、年相応です。人とよく会います。100枚の名刺がすぐ無くなってしまいます。家内とは、明日から1歳年上になります。今月13日(日)富山カントリークラブと一緒にゴルフを楽しく1ラウンドを回りました。今度また行く予定です。これからも、ロータリーなどを通じて、皆さんと楽しくやって生きていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。ありがとうございました。

(5) 会長挨拶



皆さん、こんにちは！ 今年の上半期は野外例会が沢山あり、今日このサンルートへ戻ってきて、皆さんも「ホット」しておられることと思います。考えて見ますとやはりサンルートで例会を行うのと、外で行うのとでは会員の皆さんはやはり、出ようか、止めようか、どうしようかと戸惑いがあったと思います。皆さんに負担をかけていたと反省をしています。10名近く欠席されますから。私はこの計画を立てた時、考えてもみませんでした。まず出席が上がらない。

野田内閣と一緒に、だんだん支持率が下がっていくのと一緒に、このクラブも最初は出席率は100%で、少し下がって90%。それが野外例会が始まると80%。だんだん下がり出席委員長はやきもきしておられたと思います。また事務局の川島さんにしても野外例会の度に、ラジオや重い鐘、即ち点鐘用の鐘と現金、その度にお茶やおにぎり、弁当、会場費などお金がいりますから。その度にお金がかかりますから大変だったと思います。ご苦労様でした。これでゆっくりここで例会が出来ますので、沢山の皆さんの出席をお願いします。

各委員長さん方へお願いがあります。委員会を開いて下さい。飲みましょう。

出席委員会を開いて、新入会員を入れてください。委員長さん方々、よろしくお願い致します。

(6) 幹事報告

- ・ガバナー会より タイ国洪水被害への義援金について
- ・魚津市暴力追放運動推進協議会より 地域安全パトロールについて
- ・魚津市社会福祉協議会より 魚津市防災講演会の開催について

(7) 出席報告

- ・本日の出席 32名 欠席 3名 出席率 91.42% メークアップは武隈さん
- ・2801回のメークアップはなしで修正出席率は88.57%で変わらずです。

(8) ニコボックス

- ・生駒晴俊さんより、11月23日勤労感謝の日に詩人金子みすずの映画とディナーショーをグランミラージュで行いました。多くの方々から感謝されました。
- ・宮本 汎さんより、例会欠席のお詫びです。



- ・池上嘉昭さんより、無事退院しました。よろしくお願ひ致します。
- ・寺崎明博会長より、野外例会も終わり、今日からここで例会をやりましょう。

(9) 委員会報告

・インターアクト 坪井委員長より、
本年度歳末助け合い募金活動を12月20日午後6時30分より午後6時まで
例年の通り、アピタとアップルヒルで行います。多数の参加をお願いします。

- ・親睦委員会 池上委員長より、

例会終了後、委員会を開きますので、委員の方は残ってください。



(10) 本日の卓話

1. 「金子みすずの心」 生駒 晴俊さん



11月23日勤労感謝の日に、魚津ロータリークラブの平崎さんや新川文化ホールの館長さん等8人の実行委員会を作り、「金子みすずの映画と読者会」を企画しました。全国では小学生、中学生に見てもらおう事業が行われているので

魚津でも見ていただきたいと計画しましたが、中学生は中間試験があり参加が出来ませんでした。

金子みすずは明治23年まれです。

3月11日東日本大震災のあくる日からモノクロで「金子みすずの詩」が放映されました。

「こだまでせうか」

「遊ぼう」つていふと 「遊ぼう」つていふ。

「馬鹿」つていふと 「馬鹿」つていふ。

「もう遊ばない」つていふと 「遊ばない」つていふ。

そうして、あとで さみしくなつて

「ごめんね」つていふと 「ごめんね」つていふ。

こだまでせうか、 いいえ、誰でも。

人の字は支えあっている。美しいといふと 美しいとこだまが返ってくる。

いろんな面で、花、木、動物、石ころの果てまで心を詠う詩がある。

「石ころ」

きのふは子供をころばせて けふはお馬を つまづかす。

あしたは誰が とほるやら。

田舎のみちの 石ころは 赤い夕日にけろりんかん。

石ころははじめから、田舎の道にあったのです。

人間は何かがあると相手が悪いと思う。自分が悪いと思わないとうまくいかない。

造幣局から「心のふるさと 貨幣セット」が出ました。平成20年からシリーズで4回目です。

今回は、親から子へ 子から孫へと世代をつなぎ、心に潤いをもたらすものとして、童謡詩人

金子みすずが採用され、コインに載せられました。



目に見えないものに、深くやさしく眼差しを向け、その詩は私達の心の奥底に染み透るよう
に、輝いています。貨幣セットを通して、金田みすずの詩の世界に触れて頂ければ幸いです。

震災の時に、やっぱり大変な目に遭われた方々を支えねばならないと皆さんがずいぶん起きた。
海外でも暴力を振るわない、ちやんとしたことをやっている姿、これは哲学からくるのだろうと報道
されていた。そういう気持ちが日本人にある。

中国では子供が車にはねられた時、人々はそれを見放している。世界中で見られる。

二宮金次郎さんが本を読んでいる。哲学と知っている。日本人は学んだ。

どんな荒れた田んぼでも手を加え、美しい田に変えた。人間も磨けば良くなる。

5 1 2 の詩を作られた。弟が養子にいった。

ペンネームはみすずですが、本名は照子です。幼い時に幼女に行き、結婚した。旦那は遊び人
であった。娘さんが1人生まれた。旦那は詩を書くなど言った。離婚した。旦那が娘を連れて行った。

2 6 歳の時に薬を飲んで亡くなる。

「こころ」

お母様は 大人で大きいけれど。

お母様の おこころはちいさい。

だって、お母さまはいひました、ちいさい私でいつぱいだって。

私は子供で ちいさいけれど、

ちいさい私の こころは大きい。

だって、大きいお母さまで、 まだいつぱいにならないで、

いろんな事をおもふから。

「不思議」

私は不思議でたまらない、 黒い雲からふる雨が、 銀にひかってあることが。

私は不思議でたまらない、 青い桑の葉を食べている、 蚕が白くなることが。

私は不思議でたまらない、 たれもいじらぬ夕顔が、 ひとりでぱらりと開くのが。

私は不思議でたまらない、 誰にきいても笑つて、 あたりまへだ、といふことが。

「私と小鳥と鈴と」

私が両手をひろげても、 お空はちつとも飛べないが、

飛べる小鳥は私のやうに、 地面を速く走れない。

私がからだをうすつても、 きれいな音は出ないけど、

あの鳴る鈴は私のように たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、 みんなちがつて、みんないい。

「大漁」

朝焼け小焼けだ 大漁だ 大羽鰻(いわし)の 大漁だ

浜は祭のようだけど 海のなかでは

何万の 鱷のとむらい するだろう。

いわしの弔いするだろう

私達は、命を頂いて生きています。そういうことを思い、これからも頑張ってください。

丁度、時間となりました。おわり。

2. 「海亀族について」 宮本 汎さん



・今月はロータリー財団月間です。財団の話の前に、金子みすずの心を以って感動した3つの観光名所についてご紹介します。

・豊田市小原町の”桜と紅葉の幻想美 小原四季桜まつり”は100年前村のお医者さんが豆桜と江戸彼岸桜が一緒になった美しい桜を植えたことに始まり

ます。現在2～3本残っています。紅葉と合わせて美しい風景を作っています

村は小さいが毎日数千人が訪れています。現在2000本あり、子供達が育てています。花は小さいが紅葉とのマッチがすごく、特に緑から赤まで5～7種類混ざっています。11月5日から12月4日まで開催されています。



・次に”香嵐溪と足助の街並み”を紹介します。豊田市足助町は京都と同じく紅葉の名所です。1人の尼さんが山に植えたことに始まります。今は名所になり、毎日数万人の訪れます。



・次に”長良川水辺の夢のような小さな村 なばなの里”を紹介します。ベコニアが数万鉢あります。上から2m位垂れ下がっています。東京ドームの欄干よりスケールが大きい。またイルミネーションはグランド3個分位あり、冬は真っ白、春は緑色と4色で表現されています。光のト



ンネルが200m位が2つあり、630万の電球が2色です。子供や孫に見せると興奮するでしょう。牡丹も300種類以上あり、何千本あります。富山の人、長島温泉が関与しています。魚津でも何か出来ないかと考え、現在黒崎さんが会長で松倉城址周辺に桜の名所にしようと活動されています。私も協力していますが、市民の皆さんが一生懸命してはどうですか。

今回は、金子みすずに関する・四季桜の小原、・紅葉の足助村、・イルミネーションのなばなの里を紹介しました。

次に、ロータリー財団についてお話いたします。

中国に海亀族と呼ばれる人々がいます。海外へ留学し、帰ってきた人が起業するというのを海亀の産卵をイメージして名付けられたそうです。彼らの中には留学が終わって、すぐに帰国する人もいれば、留学さきで就職する人もいます。海外企業が中国へ進出する足掛かりとなる人もいます。

他国へと羽ばたいてゆく若者たちは中国人だけでなく、新興国の人々ほど意気盛んに国外へと進出しています。移住者となる人々は全世界で2億1500万人で世界人口のおよそ3%に

も上っており、日本の人口の約2倍です。

これらの人々は今後、情報をつなぎ、お金をつなぎ、母国と移住国の両方にとって経済的な活性化を促すことで先進国と新興国をつなぐ架け橋となっていくことも期待されています。

現在、日本から海外への留学を希望する若者は、かつての十分の一にしか過ぎなくなってきました。ロータリー米山記念奨学金では日本の大学院、大学に主としてアジアから留学されている学生800名に対して、大学院生14万円、大学生10万円を世話クラブを通じて毎月支給をしています。奨学金合計が12億5千万円、各地区米山委員会と各クラブへの補助金、事務管理費を含め合計約15億円の資金が必要となります。

米山財団は約80億円を基本財産として、日本の助成事業財団の中で民間の奨学財団として第1位の栄冠に輝いています。正にロータリアンの浄財によって支えられている事業なのです。

留学生の目的を支援するとともに、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とします。

あとがき

- ・「唄を忘れたかなりあは、後の山に棄てましようか　いえ、いえ、それはなりませぬ。
唄を忘れたかなりやは、背戸の小藪に埋けましようか。　いえ、いえ、それはなりませぬ。
唄を忘れたかなりやは、柳の鞭でぶちましようか。　いえ、いえ、それはかはいさう。
唄を忘れたかなりやは、象牙の船に、銀の櫂、
月夜の海に浮かべれば、忘れた唄をおもひだす。」

誰でも耳にした童謡です。詩人西条八十の作です。性善説がよく現われています。

金子みすずは「大漁」を雑誌「童謡」に応募して西条八十に認められたという。

童謡詩人　金子みすずは大きなブームになっていると聞きます。

- ・ついでですが、二宮金次郎は薪をかずいて読んでいたのは初学者の教科書「小学」を読んでいた。東京八重洲のブックセンター前の金次郎像の本には、字が彫ってあります。
- ・昔から11月28日が「ご満座嵐」とか「ぶりおこし」といわれ、天候が大荒れになります。今年はまだ魚津浜にぶりが来たか耳にしません。温暖化の影響なのでしょうか。
ご満座は、報恩講（法事）が満了する日をいい、昔から太陰暦の11月28日であったそうです。それが明治4年太陽暦が採用されました。　お東（大谷派）はそのまま11月28日とし、お西（本願寺派）は換算し、1月16日にしたそうです。
空模様は寒中ですから、当然大荒れです。
いよいよ師走です。奉仕とご自愛をご祈念いたします。